TOSHIBA

東芝ヒートポンプ給湯機 貯湯ユニット用 脚部カバー(4面用) 取付説明書

形名 HWH-LC608 HWH-LC609 このたびは「貯湯ユニット用脚部カバー」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

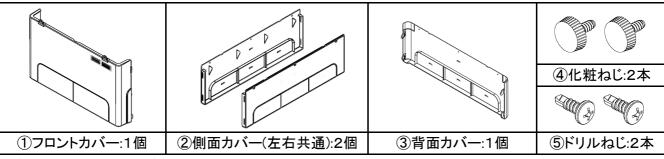
この「脚部カバー(4面用)」は、4面すべてを取り付けた状態で強度保持できる構造になっておりますので、<u>必ず4面すべてにカバーを取り付けてください。</u>

<u>壁面側(据付状況により背面又は側面)のカバーは、貯湯ユニットを基礎に固定する前にあらかじめ取り付けておいてください。</u>

適用機種

HWH-F*37*CT* (630W × 730D × 1800H) HWH-F*46*SCT* (630W × 730D × 2140H) HWS-GH46*SCT* (630W × 730D × 2140H)

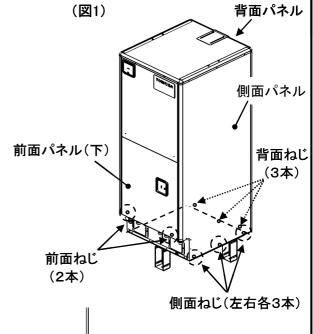
1.構成部品(次の部品が入っています)

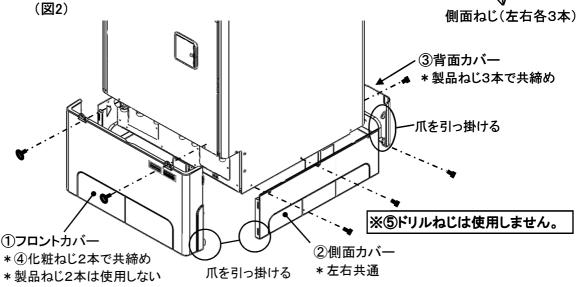


※各部品には、スリットが入っています。配管処理状況に応じて必要な部位をカッターナイフなどでカットして取り付けてください。

2-1.取付手順(4面取り付け)

- (1)筐体に共締めするねじをはずします。(図1)
 - 1.前面パネル(下)の下側のねじ2本
 - 2.左右の側面パネル下側のねじ各3本
 - 3.背面パネル下側のねじ3本
- · · · 合計11本
- (2)製品の左右側面に②側面カバーを取り付けます。(図2) 1.ねじ3本で製品の左右側面パネルに共締め
- (3)製品背面に③背面カバーを取り付けます。(図2)
 - 1.左右の側面カバーの角穴に上下2ヵ所の爪を挿入
 - 2.上部をねじ3本で製品背面パネルと共締め
- (4)製品正面に①フロントカバーを取り付けます。(図2)
 - 1.左右の側面カバーの角穴に爪を挿入
 - 2.上部を④化粧ねじ2本で製品前面パネルと共締め





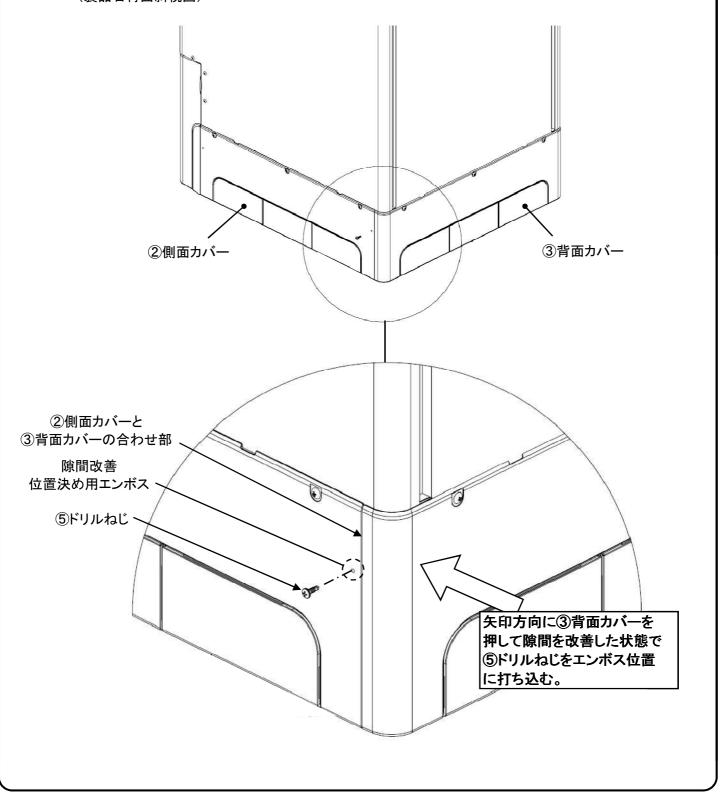
(5)配管・配線取り出し部と、本脚部カバーの干渉を確認してください。

接続配管や配線と本脚部カバーが接触していると、樹脂製カバーに力がかかって変形したり、各カバー間に隙間が発生する原因となります。

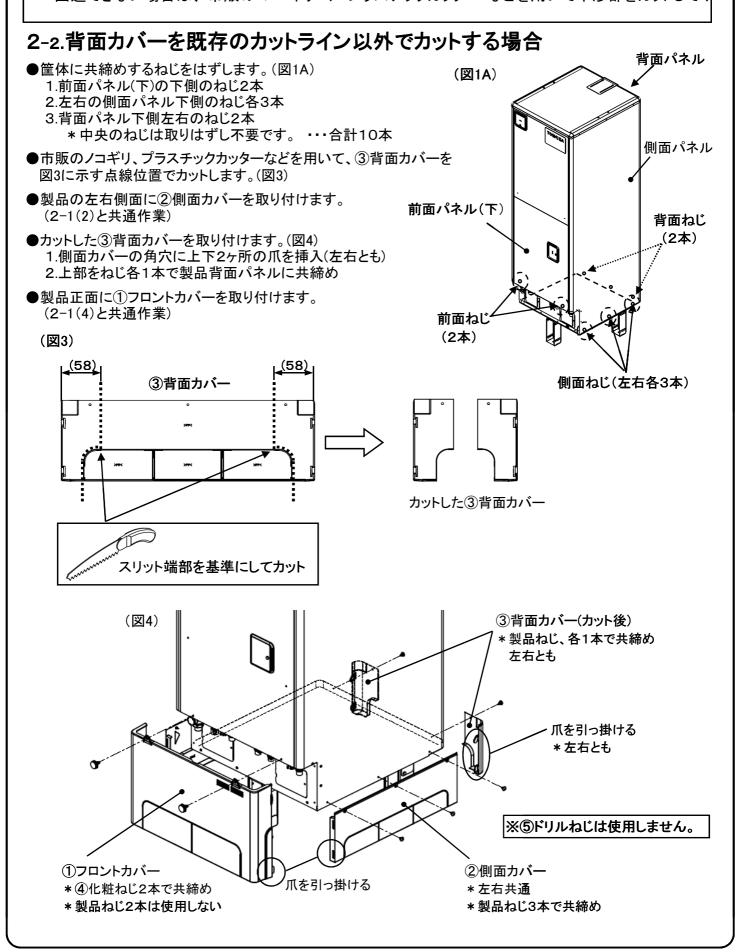
●側面カバーと背面カバーの合わせ部に隙間が生じる場合

下図のように隙間をなくした状態で、側面カバーの位置決め用エンボス位置に⑤ドリルねじ(M4×12mm)を追加することで改善できます。(下図は、右背面の場合です。左背面の場合も同様です。)

(製品右背面斜視図)



●壁面側に既設の埋設配管などがあり、背面カバーや側面カバーの既存のカットラインでは干渉を 回避できない場合は、市販の"ノコギリ"や"プラスチックカッター"などを用いて干渉部をカットしてく

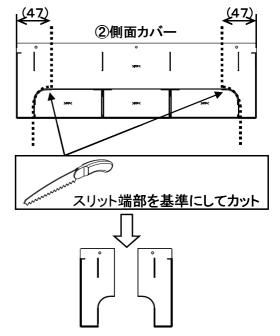


2-3.側面カバーを既存のカットライン以外でカットする場合

※イラストは右側面カバーをカットする場合です。

- ●筐体に共締めするねじをはずします。(図1)
 - 1.前面パネル(下)の下側のねじ2本
- 2.左右の側面パネル下側のねじをはずします。
 - * カットしない側面のねじ3本
 - *カットする側面のねじ左右2本(中央は取りはずし不要)
- ●②側面カバーの内、1枚を市販のノコギリやプラスチックカッター などを用いて、図5に示す点線位置でカットします。(図5)
- ●カットした②側面カバーの内、背面側のパーツの(図6)の位置に マジックなどで⑤ドリルねじ取り付け用の目印を付けます。
 - * イラストは右側面カバーの場合です。左側面カバーの場合は、 逆になります。
- ●製品の左右側面に②側面カバーを取り付けます。(図7)1.カット側:ねじ各1本で製品の側面パネルに共締め2.カットしない側:ねじ3本で側面パネルに共締め
- ●製品背面側に③背面カバーを取り付けます。(2-1(3)と共通)
- ●②側面カバーの(図6)で印を付けた位置に⑤ドリルねじを打ち 背面カバー爪と共締めして固定します。(図8)
 - *ドリルねじの打ち込みは、ねじ頭が製品表面と接した時点で止めてください。それ以上打ち込むとねじバカになります。

(図5)



カットした②側面カバー

●製品正面に①フロントカバーを取り付けます。(2-1(4)と共通作業)

